

エコアクション21 環境活動レポート

2017



【活動期間：2017年4月1日～2018年3月31日】

桜の木々と吾妻小富士の雪うさぎ



発行日：2019年4月13日

日東産業株式会社

〒960-8253 福島県福島市泉字道下15

TEL:024-553-5375 FAX:024-556-0418

E-mail: info@nitto-sanngyo.co.jp

目次

1. 環境方針	1頁
2. 組織の概要	2頁
3. 取組み対象範囲と対象活動	2頁
4. 取組対象期間	2頁
5. 環境目標	3～5頁
6. 環境活動計画	6～7頁
7. 環境活動の実績と評価	8～13頁
8. 環境活動計画の取組と評価	14～16頁
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無	17頁
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	17頁
11. 保有許可一覧	18頁
12. 所有車両一覧	19頁
13. 受託した産業廃棄物の収集運搬料	20頁
14. 行動規範等	21頁

1. 環境方針

日東産業株式会社

環境方針

【環境理念】

お客様を第一に地域生活のトータルな安全衛生作りと地域と共に発展するとの経営理念のもと、企業活動と自然環境の調和を図りながら、社員一人ひとりが、地域のみなさまと連携して環境の保全と向上に努めます。

【行動指針】

- 1、 環境関連法規の遵守
事業活動に関わる環境関連法規、条例、協定などを遵守します。
- 2、 資源・エネルギー及び廃棄物の抑制
省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物の減量化など積極的に取組ます。特に次の3項目について重点的に推進します。
 - a) ,地球温暖化防止の為、二酸化炭素の削減に取り組めます。
 - b) ,廃棄物処理業者として、環境への負担を低減させる為に、廃棄物の適正処理及び削減に取り組めます。
 - c) ,水資源の有効活用の為、節水に取り組めます。
- 3、 環境汚染予防と再資源化の推進
省資源・省エネルギー及び廃棄物の抑制を実現する為の環境マネジメントシステムを確立し、環境改善の目的・目標を明らかにして継続的改善に取り組めます。
- 4、 会社全員参加による環境保全活動の実施
社員に対する環境教育を充実させ、環境保全意識の向上を図るとともに、地域になくしてはならない事業所として環境保全活動に積極的に参画し、地域社会に貢献してまいります。

2. 組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者名

■ 日東産業株式会社 ■ 代表取締役 占部 恵太

2-2. 事業の概要

■ 一般廃棄物収集運搬(し尿、ごみ) ■ 産業廃棄物収集運搬業
 ■ 特別管理産業廃棄物収集運搬業 ■ 浄化槽清掃業 ■ 浄化槽保守点検業
 ■ 浄化槽工事業 ■ 下水道管更生業

2-3. 所在地と連絡先(担当者)

1033.7 1,463削
 ■ 住 所:〒960-8253 福島県福島市泉字道下15
 (連絡先:TEL024-557-5375 FAX024-556-0418 Email:info@nitto-sangyo.co.jp)

■ 担当者:環境管理責任者 菅野 三千秋

2-4. 事業規模

■ 創業:昭和 39 年 7 月 1 日 ■ 資本金:1,050万円
 ■ 敷地面積:2842.97㎡ ■ 事業所の述べ床面積:877.82㎡
 ■ 売上高と総従業員数:

事業年度	2015年 (2015.4～2016.3)	2016年 (2016.4～2017.3)	2017年 (2017.4～2018.3)
売上金額(百万円)	1,158	1,200	1,210
総従業員数(人)	100	102	110

注:売上金額は、当社会計年度(当年4月～翌年3月まで)による。

注:H29年度認証範囲従業員数は81名とする。

3. 取組の対象範囲と対象活動

3-1. 認証の対象範囲

■ 全組織(上記事業内容)

3-2. 認証の対象活動

■ 全活動(上記事業内容)

※日東産業株式会社組織内の福島医科大学(18名)、あらかわクリーンセンター(飛灰:7名)(清協:4名)、金沢処分場(2名)は請負業務ではあるが、相手組織の業務の一部を請負うものとなっている。よって、相手組織への常勤となっている為、日東産業株式会社の環境マネジメントシステムの構成員数には含まないものとする。また、砕石場においては、現在では稼動してなく、1名が管理のみとなり、環境負荷は極めて小さいことから、砕石場も構成員には含まないものとする。

4. 取組対象期間

4-1. 環境活動レポートの対象取組期間

■ 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

5. 環境目標

5-1. 環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境方針との整合性を図り、次の6項目について、環境目標を設定しました。

- ①二酸化炭素排出量
- ②廃棄物排出量
- ③総排水量(水使用量)
- ④グリーン購入
- ⑤自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境配慮
- ⑥社会貢献活動

5-2. 主な環境負荷の実績

2016年度(H28.4～H29.3)当社における主な環境負荷の実績は下表に示す通りです。

二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)			廃棄物排出量(kg)		総排水量(m ³) (水使用量) ※2
電力(係数:0.571) ※1	灯油 LPG	ガソリン 軽油	一般 廃棄物	産業 廃棄物	
60,400	3,171	466,872	6,453	4,661	1,084

※1…購入電力の二酸化炭素排出係数は0.571(2015年度:東北電力)を使用。

※2…総排水量・水使用量の項目で、地下水は主に浄化槽清掃後の水張り作業に利用しております。よって削減することは難しい為、地下水については使用量を把握し、有効活用の実施をしていきます。上記のことから総排水は水使用量と等しいものと致します。

5-3. 環境目標(短期・中長期目標)

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量の必須3項目ならびに自主設定項目について、単年度目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。

	単年度目標	中長期目標		
	平成29年度 (H29.4～H30.3)	平成30年度 (4月～3月)	平成31年度 (4月～3月)	平成32年度 (4月～3月)
二酸化炭素 排出量	平成27年度同期比 2%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 3%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 4%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 5%削減
一般廃棄物 排出量	平成28年度比 (H28.4～H29.3) 1%削減	平成28年度比 (H28.4～H29.3) 2%削減	平成28年度比 (H28.4～H29.3) 3%削減	平成28年度比 (H28.4～H29.3) 4%削減
産業廃棄物 排出量	平成27年度同期比 2%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 3%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 4%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 5%削減
総排水量 (水使用量)	平成27年度同期比 6%削減及び 地下水の有効活用	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 9%削減及び 地下水の有効活用	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 12%削減及び 地下水の有効活用	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 13%削減及び 地下水の有効活用
グリーン 購入	グリーン購入率 70%以上	グリーン購入率 75%以上維持	グリーン購入率 80%以上維持	グリーン購入率 82%以上維持
自らが生産・販売・提供する 製品及びサービスについての 環境配慮	エコサム総合評価 基準点70点 1%プラス	エコサム総合評価 基準点 2%プラス	エコサム総合評価 基準点 3%プラス	エコサム総合評価 基準点 3.5%プラス
地域貢献 活動	清掃活動 3回／年以上	清掃活動 3回／年以上	清掃活動 3回／年以上	清掃活動 3回／年以上

※1…総排水量・水使用量の項目で、地下水は主に浄化槽清掃後の水張り作業に利用しております。よって削減することは難しい為、地下水については使用量の把握し、有効活用の実施をしていきます。上記のことから総排水は水使用量と等しいものと致します。

※2…自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境配慮については、エコサムの総合評価ランキング(波状運転指数・アイドル時間等)の点数を活用しメーカーが推す点数(70点)を基準点とする。

単年目標(2017年4月～2018年3月)

取組対象期間	2015年度実績 (H27.4～H28.3)	2016年度実績 (H28.4～H29.3)	2017年度目標 (H29.4～H30.3)
■二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	544,602	530,442.5	533,711 (-2%)
1)電力(kg-CO ₂)	59,017	60,400.4	57,837 (-2%)
2)LPG(kg-CO ₂)	2,088	1,590.8	2,046 (-2%)
3)灯油(kg-CO ₂)	409	1,580.1	401 (-2%)
4)ガソリン(kg-CO ₂)	71,964	65,251.6	70,525 (-2%)
5)軽油(kg-CO ₂)	411,124	401,619.5	402,902 (-2%)
■廃棄物排出量(kg) (一般廃棄物+産業廃棄物)	5,779	9,442	10,738 (-2%)
1)一般廃棄物(kg)※1	データなし	5,235	5,183 (-1%)
2)産業廃棄物(kg)	5,779	4,207	5,663 (-2%)
■総排水量(水使用量)(m ³)	1,576	1,084	1,481 (-6%)
1)上水(m ³)	1,576	1,084	1,481 (-6%)
2)地下水(m ³)※3	3,210	3,150	使用量把握と 有効的活用
■グリーン購入(%)	データなし	購入率82%	グリーン購入70% 以上
■自ら生産・販売・提供する商品 及びサービスについての環境配慮※3	エコドライブによる 燃費削減 データなし	現状把握	70.7 (+1%)
■地域社会貢献活動	清掃活動の実施1回	清掃活動の実施1回	清掃活動の実施3回

※1…平成28年度実績数値

※2…総排水量・水使用量の項目で、地下水は主に浄化槽清掃後の水張り作業に利用しております。
よって削減することは難しい為、地下水については使用量の把握し、有効活用の実施をしていきます。
上記のことから総排水は水使用量と等しいものと致します。

※3…自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境配慮については、エコサムの総合
評価点(波状指数・アイドリング時間等)の点数を活用しメーカー推奨点数(70点)を基準点とする。

6. 主な環境活動計画

6-1. 二酸化炭素排出量の削減

①電力使用量の削減

- 室内温度は、冷房時26℃、暖房時は22℃の設定とする。
- こまめに不要照明の消灯を行う。
- OA機器等のエコモードによる電力の削減。



②ガソリン軽油使用量の削減

- アイドリング時間の削減。
- 急加速・急減速をしないようにする。
- 必要ないものは車内に置かない。(軽量化)
- 法定速度を遵守する。
- タイヤの空気圧チェックをする。(1/3ヶ月)



6-2. 廃棄物排出量の削減

①一般廃棄物

- 廃棄物の分別の徹底。
- 廃棄物置場の整理整頓の徹底。
- 備品等を大切にしようする。
- 必要ない用紙の裏面をメモ用紙にして再利用する。
- 可能なものは両面印刷にする。



②産業廃棄物

- マニフェストをもとに産業廃棄物の適正な処理を行う。
- 産業廃棄物の適正(飛散・流出)な保管を行う。
- 油水分離槽の維持管理を適正に行う。



6-3. 水使用量の削減

- 水道使用時にはこまめに水を止めて節水をする。
- 洗車時は節水ノズルを取り付けるようにする。
- 洗濯機使用時には水量を控えめにして節水する。



6-5. グリーン購入の推進

- グリーン購入対象商品のリストアップを行う。
- グリーン購入対象商品の優先的購入。
- 再生紙のトイレトペーパーの優先的購入。



6-6. 自ら生産・販売・提供する商品及びサービスについての環境配慮

- エコサムの総合評価を活用し、安全運転、エコドライブに努める。



6-7. 地域社会貢献活動の推進

- 地域清掃活動の実施。
- 消防団事業所として災害発生時には可能な限り協力する。



環境目標の実績と評価 (H29.4～H30.3)

対象取組期間(12ヵ月)における環境目標の達成状況は下記の示すとおりでした。

	平成27年度実績 4～3月(基準年)	平成29年4月～平成30年3月			
		目標値	実績	差異	評価
■二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	544,602	533,710	481,150	63,452削減 -11.7%	◎
・電気使用量 (kg-CO ₂)※1	59,017	57,837	59,461	444増加 0.8%	×
・LPG(kg-CO ₂)	2,088	2046	2,013	75削減 -3.6%	◎
・灯油(kg-CO ₂)	409	401	1,034	625増加 152.7%	×
・ガソリン(kg-CO ₂)	71,964	70,525	60,993	10,971削減 -15.2%	◎
・軽油(kg-CO ₂)	411,124	402,902	357,649	53,475削減 -13.0%	◎
■総排水量(m ³) (水使用量)	1,576	1,481	1,106	470削減 -29.8%	◎
・地下水使用量(m ³) ※2	3,210	地下水使用量の把握 及び有効活用	4,007		—
■廃棄物排出量(kg)	11,014	10,738	9,021	1,993削減 -18.1%	◎
・一般廃棄物排出量 (kg) ※3	5,235	5,183	4,881	354削減 -6.8%	◎
・産業廃棄物排出量 (kg)	5,779	5,663	4,140	1,639削減 -28.4%	◎
■グリーン購入の推進	—	75	95	25増加 +35.7%	◎
■自らが生産・販売・ 提供する製品及び サービスについての 環境配慮※4	燃費向上 エコサム総合評価点 基準点70	燃費向上 エコサム総合評価点 70.7	90.2	19.5%増加	◎
■地域貢献活動の 推進	1回実施	3回実施	2回実施	実施回数 1回不足	△

【評価区分】:◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※1…購入電力の排出係数は0.556(2016年度:東北電力)を使用。

※2…2016年度実績参照。

※2…総排水量・水使用量の項目で、地下水の使用用途は主に浄化槽清掃後の水張り作業に利用しております。よって削減することは難しい為、地下水については使用量の把握のみ実施していきます。また、上記のことから総排水は水使用量と等しいものと致します。

※3…平成28年度比1%削減目標

※3…自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境配慮については、エコサムの総合評価ランキング(波状運転指数・アイドリング時間等)の点数を活用しメーカーが推す点数(70点)を基準点とする。

7-1. 二酸化炭素排出量

①全体(目標:2%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2017年度目標 (kg-CO ₂)	2017年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
544,602	533,710	481,150	63,452	-11.7	◎

【コメント】…二酸化炭素排出量全体で、平成27年度比、11.7%減少し、目標を達成することが出来ました。下記に排出要因別の達成状況を示します。

②電力使用(目標:2%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2017年度目標 (kg-CO ₂)	2017年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
59,017	57,837	59,461	-444	0.8	○

【コメント】…平成27年度比、0.8%増加し、目標を達成出来ませんでした。要因としては、寒冬だった為社員の健康管理を考慮しエアコンの設定温度を上げたのと、暖房機器の使用時間が長くなった為です。

③LPG使用(目標:2%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2017年度目標 (kg-CO ₂)	2017年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
2,088	2,046	2,013	75	-3.6	◎

【コメント】…平成27年度比で、3.6%削減させ、目標を達成させることができました。要因としては、洗濯時のお湯の使用の削減が要因だと思われます。

④灯油使用(目標:2%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2017年度目標 (kg-CO ₂)	2017年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
409	401	1,034	-625	152.7	×

【コメント】…平成27年度比で、152.7%増加し、目標未達でした。2015年度から比べると下水道更生工事が増えてきているので、今後は工事が増える要素が高いので、来年度の目標数値を使用量が増えてきた2016年度の使用量を基準として、実施して参ります。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※3…評価：◎→十分達成できた、○→達成、△→昨年とほぼ同じ、×→目標未達

⑤ガソリン使用(目標:2%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2017年度目標 (kg-CO ₂)	2017年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
71,964	70,525	60,993	10,971	-15.2	◎

【コメント】…平成27年度比で、15.2%削減させ、目標を達成できました。エコサムの活用によるエコドライブと、低燃費車両・HV車両の導入によるが要因です。

⑥軽油使用(目標:2%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2017年度目標 (kg-CO ₂)	2017年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
411,124	402,902	357,649	53,475	-13.0	◎

【コメント】…平成27年度比で、13.0%削減し、目標を達成できました。エコサムのデータ活用による、従業員の意識の変化が要因だと思われます。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※3…評価：◎→十分達成できた、○→達成、△→昨年とほぼ同じ、×→目標未達

7-2. 廃棄物排出量

①一般廃棄物(目標:1%削減)

■紙類:段ボール類・紙類(廃コピー用紙、新聞紙、雑誌)(再資源化)

■ペットボトル・缶類:ペットボトル・缶類(再資源化)

■その他可燃ごみ:塵芥類・紙くず類・布類など(焼却処理)

対象期間内における排出量の実績値は下記のとおりです。

廃棄物の種類		処理方法		排出実績	
①紙類(新聞紙、雑誌、廃コピー用紙)(kg)		再生利用		580	
②段ボール(kg)		再生利用		386	
③缶類(kg)		再生利用		53	
④ペットボトル(kg)		再生利用		47	
⑤その他可燃物(kg)		焼却		3,815	
2016年度実績 (kg)	2017年度目標 (kg)	2017年度実績 (kg)	削減量 (kg)	削減率 (%)	評価 ※2
5,235	5183	4,881	354	-6.8	◎

【コメント】…平成28年度比で、6.8%削減し、目標を達成することが出来ました。要因としては、クリーンリサイクル課の呼びかけにより、全社員が意識して実施した結果です。

②産業廃棄物(目標:2%削減)

廃棄区分		処理方法		排出実績	
①廃プラスチック(kg)		破砕		1640	
②金属くず(kg)		再生利用		0	
③ガラスくず(kg)		破砕		1900	
④ガレキ(kg)		破砕		600	
2015年度実績 (kg)	2017年度目標 (kg)	2017年度実績 (kg)	削減量 (kg)	削減率 (%)	評価 ※2
5,779.0	5,721.2	4,140	1,639	-28.4	◎

【コメント】…平成27年度比で、28.4%削減し、目標を達成することが出来ました。要因としては、クリーンリサイクル課の呼びかけにより、全社員が意識して実施した結果です。

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※3…評価：◎→十分達成できた、○→達成、△→昨年とほぼ同じ、×→目標未達

7-3. 総排水・水使用量（目標：6%削減）

2015年度実績 (上水) (m ³)	2017年度目標 (上水) (m ³)	2017年度実績 (上水) (m ³)	削減量※1 (上水) (m ³)	削減率 (上水) (%)	評価 ※2
1,576	1,481	1,106	470	-29.8	◎

注)1

2015年度実績 (地下水) (m ³)	2017年度目標 (地下水) (m ³)	2017年度実績 (地下水) (m ³)	地下水使用量の把握及び 有効活用の実施	評価 ※3
3,210	地下水使用量の 把握及び有効活用	4,007	使用量を把握し、地下水を 無駄にせず活用できた	◎

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

注)1…総排水量・水使用量の項目で、地下水の使用用途は主に浄化槽清掃後の水張り作業に利用しています。よって削減することは難しい為、地下水については使用量を把握し、有効活用の実施をしていきます。このことから、総排水量と水使用量は等しいものと致します。

【コメント】…平成27年度比、29.8%削減し、目標を達成しました。全5箇所の水道各所に節水ノズルを設置した事により、洗車時の使用量が削減出来てます。

7-4. グリーン購入の推進

2015年度実績	2017年度目標	2017年度実績	増加量	増加率	評価 ※3
データなし	70	95	25	35.7	◎

【コメント】…グリーン購入については、事務用品のグリーン対象商品の購入率が95%となり、今年の目標を達成することが出来ました。総務部が購入窓口となり対象商品をリストアップし購入してくれたのが要因です。

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※3…評価：◎→十分達成できた、○→達成、△→昨年とほぼ同じ、×→目標未達

7-5. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境配慮

2015年度実績	2017年度目標	2017年度実績	増減量	増加率	評価 ※3
データなし	70.7	90.2	19.5	27.5	◎

【コメント】…エコサムの総合評価点(波状運転指数、アイドリング時間、急加速・急減速)70点を基準点として今年度実施しましたが、平均点90.2点となり目標を達成することが出来ました。今後は、エコサムを増台しエコドライブ、安全運転に努めます。

7-6. 社会貢献活動の推進

2015年度実績	2017年度目標	2017年度実績	削減量※1	削減率	評価 ※3
1回	清掃活動の実施 3回	2回	清掃活動 2回実施	実施回数 1回不足	△

【コメント】…当社は今年度8月、3月に本社近隣の清掃活動を実施したが、目標としていた清掃活動回数3回を達成できずに2回のみの活動となってしまいました。参加人数は昨年より増えました。予定を立てるのが遅かったのが原因です。来年度は、年間カレンダーに清掃活動日を記載して全員参加出来るように致します。

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※3…評価：◎→十分達成できた、○→達成、△→昨年とほぼ同じ、×→目標未達

8. 環境活動計画の取組と評価（H29.4～H30.3）

8-1. 環境活動計画の取組と評価

評価区分：◎…十分に取組んだ ○…ある程度取組んだ △…やや不十分 ×…不十分

取組項目		具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量	電力削減用量	■室内温度は冷房時26℃、暖房時22℃の設定を行う。	△
		■こまめに不要照明の消灯を行う。	◎
		■OA機器等のエコモードによる電力削減。	◎
	エコドライブの削減による	■アイドリングの時間削減。	◎
		■急発進、急加速をしないようにする。	◎
		■必要ないものを車内に置かない。（車輛の軽量化を図る）	◎
		■法定速度を遵守する。	◎
		■タイヤのローテーション,空気圧点検(1回／3ヶ月)	◎
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	■廃棄物分別の徹底。	◎
		■廃棄物置場の整理整頓。	◎
		■備品を大切に使用する。	○
		■コピー数量の削減。	△
		■必要ない用紙の裏側をメモ用紙に利用する。	○
		■可能なものは両面印刷を実施する。	○
	産業廃棄物	■マニフェストをもとに産業廃棄物の適正な処理を行う。	○
		■産業廃棄物の適正（飛散・流出）な保管を行う。	◎
		■油水分離槽の維持管理を適正に行う。	◎
総排水量（水使用量）の削減		■水道使用時にはこまめに水を止めて節水する。	◎
		■洗車時は節水ノズルを取付けて使用する。	◎
		■洗濯機使用時には水量を控えめにして節水する。	△
		■地下水を無駄にせず、有効活用する。	○
グリーン購入の推進		■グリーン購入対象商品のリストアップ及び優先的購入。	◎
		■再生紙のトイレトペーパーの優先的購入。	◎
自ら生産・販売・提供する商品及びサービスについての環境配慮		■エコドライブによる燃費向上 (ドライブレコーダー、エコサムを積極的に活用する)	◎
地域社会貢献活動の推進		■地域清掃活動の実施。	△
		■消防団事業所として災害発生時には可能な限り、協力する。	○

1. 電力使用量の削減の取組について

日東産業本社の電力使用量削減する為の、具体的な取組内容としては、3項目を実施しました。室内温度を冷房時26℃、暖房時22℃の温度設定の取組は総務課、営業を中心として、積極的に取組んできましたが、寒冬だった為に職員の健康面を考慮し設定温度を上げたり、稼働時間が長くなったりしましたので○にしました。日中使用している部屋の蛍光灯をLEDに取り替えました。OA機器等の節電モードによる電力削減においては、担当者から継続的に実施できているとの報告受け、評価は◎と致しました。

2. エコドライブによる消費燃料の削減の取組について

アイドリング時間の削減、急発進、急減速、法定速度遵守においては、エコサムのデーターを活用し安全管理部長を交え各課ごとに勉強会を実施したりと、積極的に取組めましたので◎と致します。

必要なものを車内に置かないは、前年通り実施出来てましたので◎と致します。
タイヤの空気圧チェックについては、各課ごとの車両にタイヤローテーション予定表を作成し実施いたしました。予定表通りにはいかなかったのですが、3か月に1回はチェックは出来ていたので、◎と致します。

3. 廃棄物排出量の削減

廃棄物の分別の徹底、廃棄物置場の整理整頓、備品を大切に扱うという取組については、当社のクリーンリサイクル課が先頭に立ち積極的に取組めました。また、総務課、営業が中心となり、コピー数量の削減、必要ない用紙の裏紙をメモ用紙に利用する、可能なものは両面印刷にするという取組は、前年同等だったので、今後は紙ベースの書類等を電子化出来る様に取り組みでいき、コピー数削減してまいります。産業廃棄物におきましては、マニフェストに基づいた適正な処理、適正な保管、油水分離槽の維持管理を適正に行うという取組内容がしっかりと実施出来ていました。今後も継続的に取組んで参ります。

4. 総排水量(水使用量)の削減

総排水量(水使用量)の削減についての取組は、水道使用時は、こまめに水を止める、洗車時の節水ノズルの取付けの徹底については、全社員が徹底できて、しっかりと取組む事が出来ました。

洗濯機の使用については、前年通り使用中にその場を離れて、洗濯していることを忘れてしまい、その結果、水を出しっぱなしになっていることが多くありました。今後は全自動洗濯機の導入等を検討してまいります。地下水を無駄にせず有効活用するという取組は、ほぼ浄化槽清掃作業の水張りにしか使用していないのでしっかりと取組むことが出来たので、今後も継続、維持して参ります。

5. グリーン購入

事務用品のグリーン購入対象商品の購入率は現在約95%以上となりました、今後も維持しながら、事務用品以外の商品もリストアップできるか検討し導入していきます。

6. 自ら生産・販売・提供する商品及びサービスについての環境配慮

エコサムの総合評価点(波状運転指数、急発進・急停止、アイドリング時間)70点を基準にし、実施してきましたが、年間を通して事故が削減し、法定速度を守り、燃費向上に繋がりました。今後もエコサムを増台し実施してまいります。

7. 地域社会貢献活動の実施

地域社会貢献活動の実施については、本社近隣の清掃活動を実施しました。前年より範囲を広げて実施しました。しかし期間内には3回の清掃活動の予定を立てていましたが活動できたのは2回のみという理由から△という評価に致しました。対策としては、年間カレンダー等に清掃活動の予定を入れておき、全社員参加できるように致します。

また、消防団事業者として災害発生時は協力を惜しまない取組は、より強化を図るために、災害発生時に備えて、組織の編制を構築していきたいと考えております。

8. 次年度の取組内容

今年度、未達計画を積極的に取組みます。エコサムの効果が出てますので、エコサムのデーターを活用し社員の運転状況を確認し、市民の皆様から信頼をより得られるような心構えや運転技術を指導してまいります。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

2017年12月15日付において、環境関連法規の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、創業以来一度もありません。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

業務量の増加に対応する為、社員数と業務車両を増やし、二酸化炭素排出量が増え目標が達成できないと思われたが、社員一人一人の積極的な取り組みにより目標が達成できた。しかし、不十分な取り組みが見受けられる。来年度は、今年度以上に積極的な取り組みをしてもらいたい。

所有車輛一覧（日東産業株式会社）

- ・パッカー車13台(内、2台が計量付) ・糞尿車(バキューム車)9台(内8台が箱車)
 - ・揚泥車1台 ・高圧洗浄車1台 ・ダンプ4台
 - ・脱着装置付コンテナ専用車1台 ・4tキャブオーバー車1台 ・3tHVアルミバン1台
 - ・小型貨物車1台 ・普通貨物車1台 ・保冷車(感染性貨物車)1台 ・保冷車(貨物)1台
- 計 約37台



パッカー車



糞尿車(バキューム車)



高圧洗浄車



大型ダンプ



4tキャブオーバー車



脱着装置付コンテナ専用車



3tHVアルミバン



保冷車(貨物)

※平成30年3月31日現在

保有許可一覧

産業廃棄物収集運搬許可一覧					燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	動植物性残渣	動物のふん尿
No.	都道府県市町村	許可年月日	有効期限	許可番号																	
1	福島県	H.29.7.12	H.34.7.2	第00701004874	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	宮城県	H.28.2.2	H.33.2.1	第00400004874	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○		○		○

特別管理産業廃棄物収集運搬業(感染性)許可一覧					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物
No.	都道府県市町村	許可年月日	有効期限	許可番号					
1	福島県	H.25.7.16	H.30.7.6	第0761004874					○

一般廃棄物許可一覧					
No.	市名	許可期限	許可番号	廃棄物の種類	業務の種類
1	福島市	H.28.7.1～H.30.6.30	第13号	一般廃棄物(し尿)	収集・運搬
2	福島市	H.28.7.1～H.30.6.30	第13号	浄化槽清掃	収集・運搬
3	福島市	H.28.7.1～H.30.6.30	第14号	一般廃棄物(ごみ)	収集・運搬
4	伊達市	H.28.4.1～H.30.3.31	第27-25号	一般廃棄物	収集・運搬
5	桑折町一円	H.28.4.1～H.30.3.31	第8号	一般廃棄物	収集・運搬

その他				
No.	都道府県市町村	許可期限	許可番号	業務の種類
1	福島県	H.27.12.14～H.30.12.13	福島県知事 第 1051 号	浄化槽保守点検業
2	福島県	H.25.6.16～H.30.6.15	福島県知事(登-25) 第 1068 号	浄化槽工事業
3	福島市	H.28.4.1～H.33.3.31	第 146 号	排水設備指定工事店
4	福島県	H.25.2.16～H.31.2.15	福島県 19清 第 102 号	建築物清掃業
5	福島県	H.27.7.13～H.32.7.12	福島県知事 許可(般-27) 第 28524 号	一般建設業 (土木工事業、石工事業、しゅんせつ工事業、とび・土工事業、ほ装工事業)

※平成28年8月5日現在

受託した廃棄物収集運搬量

2017年度 (H29.4～H30.3)

一般業廃棄物			
処理方法	種類	処分方法	処理量(t)
収集運搬	汚泥(し尿)	福島市下水道処理センター	20,289.6
	紙類(書類等)	再生	1,947.4
	段ボール類	再生	7,738.3
	缶類	再生	433.8
	ペットボトル	再生	598.5
	その他可燃物	福島市焼却場施設	8,495.1
	合計		39,502.7

2017年度 (H29.4～H30.3)

産業廃棄物			
処理方法	種類	処分方法	処理量(t)
収集運搬	アスコンがら		85.0
	コンクリートがら		514.8
	ガラスくず		491.3
	陶磁器くず		6.3
	がれき類		11.4
	感染性廃棄物		33.8
	金属くず		66.6
	混合廃棄物		327.0
	紙くず		8.2
	木くず		217.0
	繊維くず		0.7
	動植物性残渣		0.8
	廃プラスチック		1,720.3
	汚泥		46.7
	廃タイヤ等		2.3
	燃え殻		0.9
	蛍光灯		0.6
	不燃物・ビン類		2.4
	合計		3536.1

地域生活基盤維持



働くひとの行動規範(S.S.I)
日東産業ホールディングスグループ



S. そう かい 壮 快 社員としての存在理由

身体に元気・体力がみなぎり、充実した心身をもつ事。

S. そう かい 爽 快 仕事の存在理由

常にさわ爽やかですがすが清々しく元気あふれた気持ちで仕事をする事。

I. いさぎよいこと 潔い事 我が社の存在理由

潔い事とは、常に道に外れぬ事。

潔い事とは、心身ともに潔白である事。

潔い事とは、業務において清らかな気持ちを持つ事。

私たちは、このS.S.Iを規範として、
地域生活の安全衛生作りに一生懸命努めています。

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、本社窓口でお申し出
いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション21認証取得後は、エコアクション21中央事
務局のHP(<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

〒960-8253 福島県福島市泉字道下15
日東産業株式会社
TEL:024-557-5375 FAX:024-556-0418
E-mail:info@nitto-sangyo.co.jp